

PELLET CLUB JAPAN

20th

ANNIVERSARY SYMPOSIUM

2024

10/25

(FRI) 13:30 - 17:30

日本のペレット20年の歩みとこれからの社会

GUEST SPEAKERS



林野庁林政部木材利用課木質バイオマス推進班
課長補佐 本山 淳一 氏

2009年林野庁入庁。本庁・北海道局での勤務のほか、外務省、内閣官房への出向を経験。その後、林野庁計画課・研究指導課の課長補佐を経て、2024年4月より現職。

一般社団法人日本ペレットストーブ工業会 (PSJ)
会長 竹平 政男 氏



東北大学卒。筑波大学大学院修士課程修了。電気モーターメーカー勤務を経て、岐阜の名産ペレットストーブメーカーである(有)シモタニに入社。現社長。前社長の遺志を継ぎ形で会社を経営する傍ら、日本ペレットストーブ工業会を設立。以来、ペレットストーブ業界における規格化や講習制度などの整備に尽力。現在は、2025年に基準化予定の省エネ基準の省エネ機器にペレットストーブを登録できるよう精力的に活動中。

特定非営利活動法人バイオマス産業社会ネットワーク (BIN)
理事長 泊 みゆき 氏



日本大学大学院国際関係研究科修了。富士総合研究所を経て、1999年、バイオマス利用と産業・社会を結び付ける情報ハブである「バイオマス産業社会ネットワーク」を設立。近年は輸入バイオマスの持続可能性やFIT制度の課題について様々な場面で市民の良識を代弁。経産省バイオ燃料持続可能性研究会委員、東京大学共同研究員ほか。

ペレットクラブ (PCJ) 代表理事 小島健一郎



鳥取大学卒。鳥取大学大学院博士課程単位取得退学。専門は木質バイオマスのエネルギー利用。1998年から木質バイオマス利用研究会。2001年にペレットクラブ準備会を設立。2004年に組織変更。ペレットの利用拡大による温暖化防止や森林資源活用、地域産業への貢献などを目的とし、消費者の視点に立った活動を目標としている。過去20年間に取り組んだ燃料やストーブの規格化に目途がついた為、今後20年を考え中。JBSA理事、ラブ・フォレスト(株)代表取締役。バイオマスは熱利用が第一という教義を追い求め今に至る。



一般社団法人日本木質ペレット協会 (JPA)
会長 岡本 利彦 氏

東京大学卒。スタンフォード大学修士課程修了。100年以上続く国産ボイラメーカー(株)巴商会の御曹司にして、木質ボイラの先駆的導入者。2000年以降、スイスのSchmid(シュミット)社のボイラ販売は累計で国内トップセールスを誇る。近年はJPA会長として、ペレット燃料のJAS規格を主導。昨年よりJBSAの会長として、150へのアプローチを開始。日本のバイオマス熱利用の国際化に貢献。(一社)バイオマスボイラ工業会会長を兼任。



一般社団法人固体バイオ燃料標準化協議会 (JBSA)
理事 武 昌信 氏

日本工学院専門学校卒。日本におけるバイオマス燃料分析を委託する数少ない民間試験機関、(株)サンコー環境調査センターの技師長兼品質管理部長。SBFJが発展的に解散された後設立されたJBSAの理事として、ISO/TC238 Solid Biofuels(固体バイオ燃料)の国際的な活動に従事。数々の試験方法、試験装置、化学的・機械的な燃料試験部門を統括管理。



株式会社PEO技術士事務所 代表取締役 笹内 謙一 氏

大阪大学卒。大阪の炉メーカーである中外炉工業(株)で長らく燃焼炉の設計に従事。2000年代にバイオマスのガス化炉を開発、実証を続けたバイオニア。現在はPEO技術士事務所の代表取締役として、FITにより増え続けるガス化発電のコンサルティングを展開。バイオマスガス化GPPを検討中の自治体や企業の方は、まずは笹内さんにご相談を。MED開発事業に取り組む傍ら、ガス化炉内でのクリンカ抑制技術で世界を飛び回る。

ペレットクラブ 理事 西岡泰久



信州大学卒。長野県職員を退職後、カラマツ林業通商室を主宰。ペレットストーブの愛好家。現在カラマツで自宅を創業中。

ペレットクラブ 理事 橋本務太



IOU卒。コンサルを経てペレットクラブの事務局でアルバイトをしたのがきっかけで理事に就任。現在は国際NGOで活躍中。

会場 東京大学弥生講堂「一条ホール」

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

東京メトロ南北線「東大前」駅より徒歩1分、東京メトロ千代田線「根津」駅より徒歩8分

参加費 事前振込 3,000円/名、学生無料

主催 ペレットクラブ

協力 (一社)日本木質ペレット協会、(一社)日本ペレットストーブ工業会、(一社)固体バイオ燃料標準化協議会、(特非)バイオマス産業社会ネットワーク

協賛 アライドコーヒーローズターズ(株)、ラブ・フォレスト(株)



参加を希望される方は下記サイトか右上のQRコード、または裏面のFAXよりお申込みください。

<https://pelletclub.jp/library/2024/08/201025.html>

●加申込期限：10/24(木)

●加費振込期限：10/21(月)

問い合わせ：ペレットクラブ 長野県長野市桐原1丁目1-45 TEL：026-405-8886 / E-mail：office@pelletclub.jp

ペレットクラブ設立 20 周年記念シンポジウム「日本のペレット 20 年の歩みとこれからの社会」

日時：2024 年 10 月 25 日（金）13：30～17：30（開場・受付は 12：30～）

場所：東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内）

プログラム

※各講演の後に 5 分間の Q&A 有

- 13：30 開会の挨拶 ペレットクラブ理事 西岡泰久
- 13：35 講演 1「これまでの 20 年と今後の 20 年」ペレットクラブ代表理事 小島健一郎
- 14：05 講演 2「木質バイオマスエネルギーの利用推進について」
林野庁林政部木材利用課木質バイオマス推進班課長補佐 本山淳一 氏
- 14：35 講演 3「ペレットの JAS 規格制定と認証」日本木質ペレット協会会長 岡本利彦 氏
- 15：05 講演 4「ペレットストーブの省エネ基準と JIS 規格化」日本ペレットストーブ工業会会長 竹平政男 氏
- 15：35 Coffee Break アライドコーヒーローズ（株）より「グリーン焙煎コーヒー」の提供
- 15：50 講演 5「ISO/TC238 への P メンバー参加と 2025 年東京大会の招致」
固体バイオ燃料標準化協議会理事 武昌信 氏
- 16：20 講演 6「近年の輸入ペレット増加と持続可能性」バイオマス産業社会ネットワーク理事長 泊みゆき 氏
- 16：50 講演 7「バイオマスガス化 CHP の普及状況とペレットの品質」PEO 技術士事務所代表取締役 笹内謙一 氏
- 17：20 閉会のまとめ ペレットクラブ代表理事 小島健一郎
- 17：30 終了
- 18：00～20：00 交流会 （@ 弥生講堂会議室）

- 参加費 【シンポジウム】3,000 円/人（当日払は 4,000 円/人）、学生無料 【交流会】5,000 円/人（当日払は 6,000 円/人）、学生 2,000 円/人
- 申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、ペレットクラブ事務局まで送信してください。10 月 21 日（月）までに参加費を下記銀行口座にお振込ください。10 月 22 日（火）以降は費用が異なり、当日受付で現金払いのみとさせていただきますのでご注意ください。

八十二銀行 大門町支店（普）390018 ペレットクラブ

- メディア取材 シンポジウム・交流会とも無料です（参加申し込み要）。公平性を期すため、取材費はお受け取りできませんのであらかじめご了承ください。

参加申込書 送信先：ペレットクラブ事務局 FAX 026-405-8887

氏名※	フリガナ	
所属※	特に所属先がない場合は「個人」とご記入ください。	役職
連絡先※	E-mail	TEL
所属団体	講演者の団体に所属されている場合は、その旨ご記入ください。	
シンポジウム※	<input type="checkbox"/> 参加する	<input type="checkbox"/> 参加しない
交流会※	<input type="checkbox"/> 参加する	<input type="checkbox"/> 参加しない
取材	<input type="checkbox"/> 取材で参加	
領収書	<input type="checkbox"/> 必要（領収書の宛名）	

※を必須でご記入の上、10 月 24 日までに FAX にてお送りください。